

神奈川県立岸根高等学校 令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

・令和5年6月27日(火) 16:00～ 岸根高校会議室

・出席者：・学校運営協議会委員・・長島 由佳様(すこやかサークル会長)、三田 敏幸様(岸根町内会会長)
丹羽 滋子様(マーマシのはら保育園園長)、望月 選様(F・マリノススポーツクラブ理事)、
奥山 恭子様(岸根高校PTA会長)、久祢田 啓嗣(岸根高校学校長)

・職員・・長澤 利恵子(副校長)、井浦 洋(教頭)、久保 裕紀(カリキュラムG総括)
河本 かおり(キャリア支援Gサブリーダー)、菊本 亘孝(サポートG総括)、浦野 高宏(生活支援G総括)、
尾崎 明美(地域連携協働G総括)、川崎 陽香(学校管理運営G総括) ※G = グループ

I 校長より・・挨拶

II 会長より・・思い返せば、岸根高校20周年記念時からの長いつきあいとなる。その頃から、岸根高校が地域とのあり方を大切にしてきた学校であることを改めて思い、より良い学校づくりにこの会が役立つことを願っている。

III 報告事項

- 1 岸根コミュニティ・スクール概要
- 2 令和5年度コミュニティ・スクール
 - (1) 学校運営協議会
 - (2) 部会
 - (3) 令和5年度岸根コミュニティ・スクール年間計画
 - (4) 岸根コミュニティ・スクール組織図
- 3 令和4年度学校評価

IV 協議事項

- 1 令和5年度学校運営の基本方針の承認
 - 1-1 令和5年度学校目標

・校長より経営重点方針について説明

ランドデザイン・スクールミッションについて、来年度は、中学生とその保護者がイメージしやすい、もっとわかりやすいものに変えていく予定である。

V 質疑応答・意見交換

Q1: (A委員)「キャリア講演会」とは、どのようなものか?

A1: 1年生対象の、専門学校講師による分野別の、「職業について知る活動」となる。2年生では大学の方を招いてどんな学部でどんなことを学べるのかを知る。3年生では、どの大学にどんな入試制度があるのかを学ぶ。

校長：岸根の生徒にもう少し頑張ってもらいたいので、意欲向上のために講演をお願いしている。

Q2：(B 委員)「体系的に学年順に段階を踏んで学んでいる」と考えて良いのか？

A2：その通りである。

Q3：(A 委員)人権研修について、どのような内容を予定しているか？

A3：教員向けで、「どうすれば生徒のより良い学校生活をサポートできるか」という視点での研修を行う予定。スポーツトレーナーによる、教員のストレス軽減のための「体ほぐしマネジメント」など。

Q4：(A 委員)生徒向けの研修は？

A4：学校管理運営グループでは、夏期休業中に「教員向け」の研修を予定している。

C 委員：岸根高校の「地域を知る活動」に、今年度も協力を予定している。岸根高校の「総合的な探究の時間」の活動についても協力依頼を受け、役立ちたいと考えている。

D 委員：初めてこの協議会に参加したが、きめ細かな資料に、学校の陰の努力を垣間見て驚いている。

E 委員：マリノスとしては、スタジアムを利用しての高校生の活動等も支援しており、岸根高校でも希望があれば、協力したい。

B 委員：トリマーなど専門職の方々のお話も良いが、多角的な視点で、例えば、「マリノスのチームとしての活動や試合が、どれほど多くの人々との関わりの中で成立しているのか」等を学ぶのも良いのでは？

「好きなことが色々な方向に向う可能性を持っている」ということを知らせる学びもある。

校長：岸根高校の夏期講習は、「日本舞踊を見よう」や「下水道マニア」なども含めて豊かなラインナップであることをお知らせしたい。スポーツチームもフィジカル以外にどんなトレーニングをしているのか、トップチームの選手たちの課題発見能力は素晴らしいということを、マリノスの方々等にもご協力をいただきながら、生徒に学ばせることができれば、と願っている。

Q5：(B 委員)SC (スクール・カウンセラー) と SSW (スクール・ソーシャルワーカー) の利用率は、どのくらいか？

A5：利用についての生徒側の垣根は低いと感じている。いちばん利用される時は1日全てのコマがいっぱいになる。学校としては、まず、つなげていきたい。利用率はSCの方が高い。教員側でも、SCとSSWの違いを知る必要がある。

B 委員：両方をうまく利用できることを期待する。